

あたたかい メッセージが 届きました。

令和8年熊本地震の発生に際し、宇土にゆかりのある皆さまから、被災された方々を思いやる温かなメッセージが届けられました。

寄せられた言葉には、故郷への深い気持ちや、地域の再建を願う思いが込められており、その一つひとつが、復旧・復興に向けて歩む宇土の大きな励みとなっています。



プロサッカー選手
鹿島アントラーズ

植田 直通

このたびの地震により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。自分はサッカー選手として、今できることを精いっぱいやりたいと思います。サッカーで、宇土市の皆さんに勇気や希望を与えられるようなプレーをしたいと思っています。

宇土市出身のプロサッカー選手。J1リーグの鹿島アントラーズに所属するディフェンダーで、背番号は55。屈強なフィジカルと対人プレーの強さを武器に、日本代表や海外クラブでも活躍した実績を持つ。



プロバスケットボール選手
熊本ヴォルターズ

澤邊 圭太

宇土で生まれ育ち、大好きな宇土を再び大地震が襲い、大切にしてきた日常や思い出が理不尽に奪われました。今回、悔しさや深い悲しみはありますが、同時に、たくさんの人に支えられ各地では「ありがとう」という感謝の言葉が広がったと思っています。温かな言葉や行動で人の心は救われます。前を向けます。皆さまの日常が一日でも早く返ってくることを願っています。

所属…熊本ヴォルターズ ポジション…SG(シューティングガード) 鶴城中学校、九州学院高校を卒業後、大阪学院大学に進学。

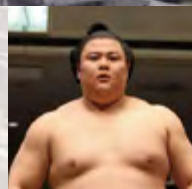


プロハンドボール選手
熊本ビューストピンディーズ

前田 優

令和8年熊本地震により不安な日々を過ごされている皆様、心よりお見舞い申し上げます。宇土市出身の選手として、ハンドボールを通じて故郷に元氣と勇気をお届けできるよう、支えてくださる皆さまへの感謝を胸に、コートで全力のプレーをお見せします。ともに前へ進み、戦いましょう！

所属…熊本ビューストピンディーズ ポジション…ゴールキーパー 宇土市出身。緑川小学校、住吉中学校卒業。



大相撲力士

義ノ富士 直哉

このたびの熊本地震により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。宇土市の皆さまには、これまで温かいご声援をいただき、支えていただきました。今度は私が相撲を通じて、少しでも元氣と勇気を届けられるよう頑張ります。宇土市の一日も早い復旧・復興を心より願っています。

花園小学校、鶴城中学校、文徳高校を卒業後、日本大学に進学。4年時に学生選手権で個人優勝し、伊勢ヶ濱部屋に入門。令和6年5月場所にて初土俵。令和7年3月場所新十両、同年7月場所にて新入幕、令和8年7月場所で新小結に昇進。



宇土市親善大使
多目的市民交流施設プロデューサー
フリーアナウンサー

本橋 馨

石橋町や宮庄町を訪ねましたが、苦勞が多いご様子でとても胸が痛みました。現在私は被災地の子ども達や高齢者施設を回り、紙芝居やゲームなどで楽しむボランティア活動をしています。お声掛けいただければ宇土のどこでも伺いますよ。私のインスタやホームページから遠慮なくお申し付けください。ね。これからも宇土を応援します！

熊本県民テレビ(KKT)で「テレビタミ」などを担当し、2023年3月に退職後は熊本でフリーアナウンサーとして活動。開設予定のサードプレイスや多目的交流施設整備事業のプロデューサーとしても携わる。



宇土市親善大使
モデル
タレント
ウォーキング講師

植田 明依

このたびの地震により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。私も宇土市の自宅で被災しましたが、震災後の宇土を見ていて思ったのは宇土市民の強さと優しさです。私もできることを続けていきます。宇土市みんなで助け合い、乗り越えましょう！

宇土市出身・在住。2024ミス・インターナショナル日本代表。世界大会では、2024ミス・アジアパシフィック賞を受賞。現在はモデル、タレント、ウォーキング講師として活動中。

宇土市長 光井正吾からのメッセージ

7月28日、午後4時27分。本市を再び襲った大きな揺れは、10年前：平成28年熊本地震の本震と同じ震度6強でした。あのときの記憶が一瞬にして呼び覚まされ、不安に胸を締め付けられた方も、少なからずであったのではないのでしょうか。

今回の「令和8年熊本地震」は、隣接する宇城市や氷川町で最大震度7を観測し、平穏な暮らしに再び大きな爪痕を残しました。県内では尊い命も失われました。お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご遺族の皆様、心よりお悔やみ申し上げます。また、被災され、不安な日々をお過ごしの方々に、心からお見舞い申し上げます。

本市では、建物の倒壊など、目に見える被害だけを比べれば、10年前より小さく映るかもしれません。しかし、家屋被害調査の申込件数は現段階で10年前を上回っています。調査が進むにつれ、外からは見えにくい被災の深刻さが明らかになってきています。住まいに深刻な被害を受け、自宅で暮らし続けることが難しくなった方、生活に大きな不安を抱えておられる方は、決して小さくありません。その切実な思いと不安を、市として決して見過ごしてはならない。今、改めてその責任の重さを感じています。

そのような困難の中で、私たちを支えているのは「人と人との絆」です。自らも被災しながら地域のために奔走してくださっている行政区域長、消防団、民生委員、婦人会をはじめとする地域の皆様。発災直後から継続して支援してくださっている国や県、全国の自治体の職員の皆様。多くの方々が、それぞれの立場で、本市の復旧を後押ししてくださっています。皆様の温かいご支援が、

私たちの歩みを前へと進める大きな原動力となっています。心から感謝申し上げます。

本市は、市民の皆様の命と安全を何よりも優先し、一日も早い生活の再建と地域の復旧・復興に向け、総力を挙げて取り組んでまいります。

再び襲いかかった地震によって、私たちは大切なものを失いました。その大きさや悲しみは、10年前のあの日に決して劣るものではありません。しかし、復旧・復興へ踏み出す私たちの「一歩」は、10年前とは大きく異なります。10年前の経験から、私たちは、互いに支え合い、助け合うことの大切さを胸に刻み、その力を受け継いでまいります。一人ひとりの力がつなげば、どんな困難にも立ち向かい、前へと進むことができます。

市民の皆様と心をつなぐ、この難局を必ず乗り越える。そして、誰もが安心して暮らせる、誇りある郷土を、皆様とともにつくってまいります。

鶴城中女子ハンドボール部の皆さん、全国優勝おめでとう！

自らも被災し、思うように練習できない日々を乗り越えてつかった、2年連続 通算8回目の日本一。本当にすばらしい！皆さんが届けてくれた最高のニュースは、郷土に元氣と笑顔を与えてくれました。最後の全国中学校大会での有終の美、最高です！

感動と元氣をありがとう！